

京都看護助産学校



副学校長
増山 路子

平成29年3月31日まで



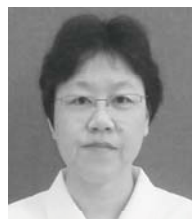
副学校長
池田 仁美

平成29年4月1日から



助産学科 教育主事
佐藤 美春

平成29年3月31日まで



助産学科 教育主事
伊藤 美栄

平成29年4月1日から



看護学科 教育主事
釘宮 泰子



看護学科 教育主事
小林 由里

I 看護学校の概要

1. 名称

独立行政法人 国立病院機構 京都医療センター附属京都看護助産学校

2. 所在地

〒612-8555 京都市伏見区深草向畑町 1 の 1

TEL (075) 641 - 9191 (直通) HP <http://www.hosp.go.jp/~kyotolan/guide/medicalinfo/school/>

3. 沿革

- 昭和24年 4月 1日 国立京都病院附属高等看護学院として開設
1 学年定員30名 総定員90名
- 昭和43年 4月 1日 1 学年定員50名 総定員150名
- 昭和44年 4月 1日 助産婦科の附設 1 学年定員35名 総定員35名
国立京都病院附属高等看護助産学院に名称変更
- 昭和50年 4月 1日 国立京都病院附属看護助産学校に名称変更
- 昭和51年 4月 1日 専修学校(専門課程)に認定
- 平成16年 4月 1日 国立療養所宇多野病院附属看護学校(3年課程)と国立療養所南京都
病院附属看護学校(2年課程)と3校が統合、大型校となり独立行政
法人国立病院機構京都医療センター附属京都看護助産学校に名称変更
看護学科 1 学年定員80名 総定員240名
助産学科 1 学年定員35名 総定員 35名
- 平成27年 4月 1日 助産学科 1 学年定員25名 総定員25名 定員変更

卒業生数(平成28年 3月31日現在)

看護学科(1 回生~53回生)… 1,968名

(1 回生~13回生)… 970名(統合後)

助産学科(1 回生~48回生)… 1,399名

4. 課程・定員

課程	学科	入学定員	総定員	在籍者数(平成29年3月1日現在)			
				1年生	2年生	3年生	合計
看護専門課程	看護学科(3年課程)	80人	240人	74人	92人	84人	250人
看護専門課程	助産学科	25人	25人	24人	/	/	24人
計		115人	275人	98人	92人	84人	274人

II 教育理念・目的

1. 教育理念

本校は、国立病院機構附属の養成所であり、国立病院機構の病院が担っている役割や機能を理解し、将来の国立病院機構の医療をリードしていく看護実践力をもつ看護師を育成することを責務としている。

人間愛を基盤とし、生命の尊厳と人権の尊重ができる感性豊かな人間性を育てることに主眼をおき、感じる心・考える力・主体的に行動する学生の育成を目指している。感じる心とは、人間に関心をもつことができ、生命の大切さや多様な価値観を感性豊かに感じとり物事の変化に気づくこと、考える力とは、状況の意味を自ら考え、専門的知識を活用して分析・判断する力のこと、主体的に行動するとは、感じ考えたことを自らすすんで表現し行動に繋げることができ責任がとれること、自己の目標達成に向けて卒業後も継続的に学習することを言う。

人間は、自己実現を目指し変化しようとしている存在であるが、現代の若者は生活体験が乏しいことから事象をイメージしにくく想像力・理解力が未熟な傾向にあるため、看護専門職として必要な基礎的知識、技術、態度を習得にあたり、体験的・実践的学習をとりいれわかりやすい授業を実践する。また、臨地実習での学びを充実させるために学びやすい環境づくりに力を入れる。さらに、医療・看護の動向をふまえ、保健医療福祉の変化に対応できる人材を育成する。

2. 教育目的

看護師若しくは助産師として必要な知識及び技術を教授し、独立行政法人国立病院機構及び社会に貢献し得る有能な人材を育成する。

3. 教育目標

1. 生命の尊厳と個々の人権を尊重できる感性豊かな人間性を養う
2. 看護の対象である人間を身体的・精神的・社会的に統合された存在として幅広く理解し、看護師としての人間関係を形成する能力を養う
3. 看護師としての責務を自覚し、倫理に基づいた看護を実践する
4. 科学的根拠に基づき、看護を計画的に実践する基礎的能力を養う
5. 健康の保持・増進、疾病の予防および健康の回復に関わる看護を、健康状態やその変化に応じて実践する基礎的能力を養う
6. 保健・医療・福祉システムにおける自らの役割および他職種の役割を理解し、他職種と連携・協働する基礎的能力を養う
7. 社会の動向に関心を持ち、常に主体的に看護を探究する姿勢と自己研鑽し続ける能力を養う

コンセプト

感じる心 考える力 そして・・・行動を

4. 平成28年度 部門(看護学校)目標

病院目標: 地域医療構想などへの対応に向けて、今後の需要と供給などを踏まえた将来への展望を開く医療基盤の充実と発展

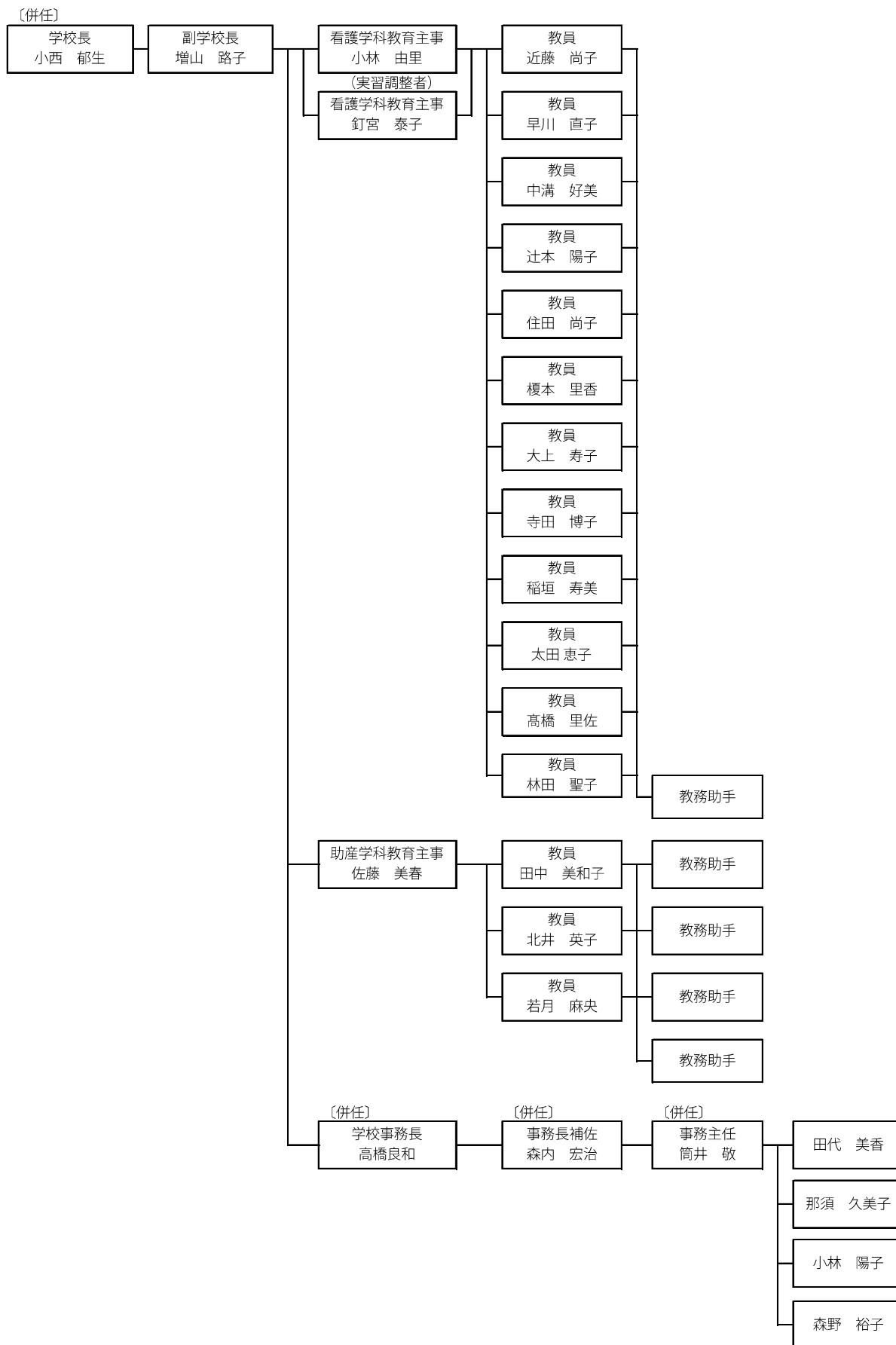


地域医療構想への対応→医療の変化に対応しうる看護職者の育成→主体的に学び続ける基礎能力の育成

部門目標	28年度重点目標
1 組織が円滑に機能するよう連携を密にし、組織の活性化に努める	○ 組織における情報の共有
	①朝・夕のミーティングの活用 ②会議での意見交換(情報の提供、提案)
	○ チームとしての業務遂行
	①学年、講義担当、実習担当、各チームが年末病院での成果発表会にて発表
	○ 勤務時間管理の徹底と自己管理
	①学校使用時間の厳守 ②勤務時間内における業務遂行(管理責任の徹底)
2 国立病院機構に貢献できる優秀な人材の確保と育成。	○ 広報活動の推進(HP改訂、リアルタイムな情報提供、学生意見の活用)
	①HPのリニューアルと更新 ②説明会への参加(教員・教育主事を含む広範囲な活動)
	○ 臨床との連携による看護技術教育の充実 ①実習指導者会活動 ②演習計画のお知らせ
	○ 国立病院機構への就職率看護師科70%以上、助産師科50%以上
	○ 国家試験合格率が当該年度の国立病院機構全国平均以上
	①1年次からの国家試験対策 ②実習学習とリンクする国家試験対応
3 指導計画や授業実践の改善・充実につながる授業評価や研修の充実を図り、教員の指導力の向上に努める	○ 自己の研究テーマを持ち、研究に取り組む
	○ 研修、学会等へ1回以上の参加により自己啓発を図る
	○ 専門領域等の実務研修に1回以上参加し、最新の知識・技術を吸収する
	○ 他校における研究授業に1回以上参加し、授業方法を研鑽する
	○ 当校における授業研究での意見交換等により他科目との関連を理解する
	○ 研修日の確保(月1日)
4 学生が主体的に学ぶ基礎的能力を育成する《感じ、考え、行動する》	○ アクティブラーニングの活用
	①主体的に学ぶ、協同的に学ぶ=課題の検討、グループワークの活用、演習形式の活用
	○ 学生フォーラム・「看護の日」活動・自治会活動・クラブ活動への支援
	○ ボランティア活動等の推奨
5 学生にとって、公平で相談しやすい学校組織の充実を図る。	○ 学生の気づきや、課題を意識し、きめ細やかな指導・タイムリーな指導に努める
	○ 学生の声が充分学校職員に上がるよう、話しやすい雰囲気作りに努める
	○ 担任、担当にこだわらず学校職員全てが相談の窓口になれることを発信する
	○ 学生による授業評価から課題を明確にし、改善に取り組むと共に学生に公表する
	○ 継続的な自己点検・自己評価(及び第三者評価)を実施し、学生・保護者へ公表する
	○ 卒業時カリキュラム評価の目標平均値3.0以上

III. 本学の組織

1. 組織図



2. 教育経験年数

	教員の種別	教育年数	専門領域
看護学 科	副学校長 (増山 路子)	18 年	
	教育主事 (小林 由里)	12 年	基礎看護学
	教育主事 (釘宮 泰子)	13 年	小児看護学
	教 員 (近藤 尚子)	22 年	在宅看護論
	教 員 (早川 直子)	10 年	成人看護学
	教 員 (中溝 好美)	8 年	老年看護学
	教 員 (辻本 陽子)	助 5 年・看 2 年	母性看護学
	教 員 (榎本 里香)	6 年	成人看護学
	教 員 (住田 尚子)	6 年	小児看護学
	教 員 (稲垣 寿美)	5 年	成人看護学
	教 員 (大上 寿子)	5 年	基礎看護学
	教 員 (寺田 博子)	5 年	老年看護学
	教 員 (太田 恵子)	1 年	老年看護学
	教 員 (高橋 里佐)	1 年	母性看護学
	教 員 (林田 聖子)	0 年	母性看護学
	教務助手 (宮崎 千代子)		
助産 学 科	教育主事 (佐藤 美春)	助 7 年・看 12 年	助産学・母性看護学
	教 員 (田中 美和子)	助 7 年・看 1 年	助産学
	教 員 (北井 英子)	助 4 年	助産学
	教 員 (若月 麻央)	助 2 年	助産学
		教務助手 (中川 明子) (勢力 陽子) (太田 結子) (赤築 佳美) (置田 貴代)	

3. 職員・講師数

教職員に関する事項	教員の種別	専任	兼任		職員の種別	専任	兼任
			(看)	(助)			
	保健師	0名	0名	1名	事務職員	4名	3名
	助産師	6名	4名	10名	その他の職員	0名	0名
	看護師	12名	38名	1名	合計	4名	3名
	医師 (歯科医師含む)	0名	38名	14名			
	その他の教員	0名	27名	6名			
	合計	18名	107名	32名			

IV. 学生募集

1. 入学試験実施状況

看護学科	一次試験	二次試験	合格発表
一般入学試験	平成29年 1月19日(木)	平成29年 1月21日(土)	平成29年 1月26日(木)
社会人入学試験	平成28年11月17日(木)	平成28年11月19日(土)	平成28年11月24日(木)
公募推薦入試	平成28年11月17日(木)	平成28年11月19日(土)	平成28年11月24日(木)
推薦入学試験	平成28年11月17日(木)		平成28年11月24日(木)

助産学科	一次試験	二次試験	合格発表
一般入学試験	平成29年 1月19日(木)	平成29年 1月21日(土)	平成29年 1月26日(木)
特別選抜入学試験	平成28年11月17日(木)		平成28年11月24日(木)

2. 入学状況

<看護学科>

年度(回生)	試験	応募者数	受験者数	合格者数	入学者数	退学者数	卒業者数
平成26年 (第13回生)	推薦	9	9	9			
	社会人	82	76	33			
	一般	171	164	72			
	合計	262	249	114	82	3	77
平成27年 (第14回生) 在学中	推薦	12	12	12	12		
	社会人	62	60	30	30		
	一般	110	99	65	49		
	合計	184	171	107	91		
平成28年 (第15回生) 在学中	推薦	16	16	16	16		
	社会人	23	22	10	10		
	一般	69	69	56(4)	44(4)		
	合計	108	107	82(4)	70(4)		
平成29年 (第16回生) 在学中	推薦(学校)	10	10	10	10		
	推薦(公募)	25	25	24	24		
	社会人	28	28	16	15		
	一般	106	103	65	39		
	合計	169	166	115	88		
総計		723	693	418(4)	331(4)	3	77
平均		181	173	106	84	3	

()内 補欠合格者

<助産学科>

年度(回生)	試験	応募者数	受験者数	合格者数	入学者数	退学者数	卒業者数
平成25年 (第45回生)	特別選抜(学校)	9	9	9	9	1	8
	特別選抜(施設)	3	3	3	3		3
	一般	72	54	18	15	2	13
	合計	84	66	30	27	3	24
平成26年 (第46回生)	特別選抜(学校)	10	10	10	10		10
	特別選抜(施設)	0	0	0	0		0
	一般	69	62	18	18	3	15
	合計	79	72	28	28	3	25
平成27年 (第47回生)	特別選抜(学校)	13	13	13	13	2	12
	特別選抜(施設)	1	1	1	1		1
	一般	65	57	12	11		10
	合計	79	71	26	25	2	23
平成28年 (第48回生)	特別選抜(学校)	8	8	8	8		8
	特別選抜(施設)	3	3	3	3		3
	一般	73	63	19	13		13
	合計	84	74	30	24		24
平成29年 (第49回生) 在学中	特別選抜(学校)	11	11	11	11		
	特別選抜(施設)	0	0	0	0		
	一般	58	54	18	14		
	合計	69	65	29	25		
総計		395	348	143	129	8	96
平均		79	70	29	26	2	19

3. オープンキャンパス・公開講座の実施

<公開講座>

日程	テーマ	参加者数
平成28年5月28日(土)	看護学生体験：血圧測定、手洗い、胸腹部聴診	13人
平成28年6月26日(日)	看護学生体験：血圧測定、手洗い、胸腹部聴診	30人
平成28年7月31日(日)	看護学生体験：血圧測定、手洗い、胸腹部聴診	59人
平成28年8月20日(土)	看護学生体験：血圧測定、清潔操作、包帯	55人
平成28年9月11日(日)	看護学生体験：血圧測定、清潔操作、包帯	28人
平成28年11月6日(日)	看護学生体験：血圧測定、清潔操作、包帯	28人
平成28年11月6日(日)	市民公開講座：ストレッチ・ゆびヨガ	15人
平成28年9月17日(土)	性教育講座を「つながる命の大切さ ～これまでの自分、これからの自分～」	14人
平成28年10月8日(土)	ファミリー教室「みんなで新しい家族をむかえよう」 ～Welcome, New Family～	19人
平成28年7月16日(土)	助産学生体験：モデル人形による分娩介助体験	52人
平成28年8月20日(土)	助産学生体験：モデル人形による分娩介助体験	65人
平成28年9月3日(土)	助産学生体験：モデル人形による分娩介助体験	23人
合計		342人

<オープンキャンパス>

学 科	日 程	参加者数	内 容
看護学科	平成28年5月28日(土)	16人	学校説明
	平成28年6月26日(日)	45人	入学試験の説明
	平成28年7月31日(日)	71人	学校生活の紹介
	平成28年8月20日(土)	70人	校舎内見学
	平成28年9月11日(日)	35人	看護学生体験
	平成28年11月6日(日)	33人	看護学生との交流
助産学科	平成28年7月16日(土)	52人	学校説明 学校生活の紹介 入学試験の説明 校舎内見学

V. 学生生活

1. 心身の健康保持・増進

1) カウンセリング

カウンセラーによるカウンセリングを週1回(放課後)に実施している。

2) 健康診断

健康管理規定に基づき、定期的実施している。

項 目	対 象	4月	7月	10月	1月
1. 身体測定	全学生	○	○	○	○
2. 胸部X線撮影	全学生	○			
3. 血圧測定	全学生	○		○	
4. 検尿 (糖、蛋白、潜血、ウビリノゲン)	全学生	○		○	
5. 内科総合診断	全学生	○		○	
6. 採血 (梅毒反応、HB、HCV、麻疹、風疹 水痘、ムンプス抗体検査)	新入生	○			
7. ツベルクリン反応検査	新入生(2、3年生 の陰性者)	○			
* 検便は実習前に実施					

2. 課外活動 : 看護学科

1) 自治会活動

	< 前 期 >		< 後 期 >
5月	自治会総会	11月	自治会総会
6月		12月	大掃除 クリスマスコンサート
7月	大掃除 サマーコンサート	1月	
8月		2月	国家試験激励会、予餞会
9月		3月	
10月	戴帽式のお祝い 自治会総括 後期自治会選挙 近畿看護学会(3年生)	4月	新入生歓迎会 自治会総括 前期自治会選挙

2) クラブ活動

(1) バレーボール部

毎週 火・水・木・金 曜日 16:30～18:00 体育館

あじさい杯 平成28年6月18日(土) 開催

* 京都看護助産学校主催で近畿グループ附属看護学校5校のバレーボール部が集まる大会。
毎年開催している。

(2) 茶道部

隔週 木 曜日 16:30～18:30 在宅看護実習室

七夕茶会 平成28年7月21日(木) 開催

初釜茶会 平成29年2月 2日(木) 開催

(3) 園芸部

不定期開催

患者さんたちに季節の花を見てもらえるよう、草花を植えて手入れをしている。

(4) 合唱サークル

不定期開催

みんなで楽しむとともに、病院コンサートや実習でのレクリエーションで患者さんに喜んでもらえるよう、練習している。

3) ボランティア活動

	実施時期	学年	実施内容
1	平成 28年 5月 12日	学生全員	看護の日記念行事コンサート・カードの配布(京都医療センター)
2	平成 28年 7月 22日	1年生	サマーコンサート(京都医療センター)
3	平成 28年 12月 21日	1年生	クリスマスコンサート(京都医療センター)
4	平成 29年 2月 27日	3年生	病院清掃ボランティア(京都医療センター)

VI. 卒業生の進路

1. 就職・進学状況

<看護学科>

年度	回生	卒業 者数	就 職						進学				未 就 職
			国立病院機構		官 公 立	法 人	そ の 他	看 護 職 以 外	保 健 師	助 産 師	養 護 教 諭	大 学	
			自施設	他施設									
平成25年度	第10回生	80	32	28	3	3	0	0	0	9	0	5	0
平成26年度	第11回生	70	36	24	3	1	0	0	0	4	0	2	0
平成27年度	第12回生	69	41	18	1	0	4	0	0	3	0	2	0
平成28年度	第13回生	82	43	29	1	0	2	0	0	6	0	0	1

<助産学科>

年度	回生	卒業 者数	就 職						進 学	未 就 職
			国立病院機構		官 公 立	法 人	そ の 他	看 護 職 以 外		
			自施設	他施設						
平成24年度	第44回生	29	5	10	9	2	3	0	0	0
平成25年度	第45回生	24	6	10	6	2	0	0	0	0
平成26年度	第46回生	25	4	10	8	3	0	0	0	0
平成27年度	第47回生	23	4	9	7	2	0	0	0	1
平成28年度	第48回生	24	4	9	6	5	0	0	0	0

2. 国家試験

<看護学科>

		全国 (%)	機構附属 (%)		
			全国	近畿	京都
105回 (H28.3)	全体 (新卒)	89.4 (94.9)	98.0 (98.4)	99.4	100
106回 (H29.3)	全体 (新卒)	88.5 (94.3)	88.5 (94.3)	98.6	98.8

<助産学科>

		全国 (%)	機構附属 (%)	
			全国	京都
99回 (H28.3)	全体 (新卒)	99.8 (99.8)	100	100
100回 (H29.3)	全体 (新卒)	99.8 (99.8)	100	100

VII. 教員の研究および研修参加

3. 教員の業績および活動状況

1. 研究活動

<学会発表>

日程	学会名	テーマ	研究者(○発表)
平成28年 11月11日	国立病院総合医学会	中堅教員の学校運営能力を育成する活動報告	○小林由里、増山路子 (ポスター)
平成28年 11月12日	国立病院総合医学会	実習前演習に老年期の特徴を活かした排泄援助演習の試み	○中溝好美、太田恵子 (ポスター)
平成28年 11月12日	国立病院総合医学会	協同学習を取り入れた国家試験対策学習の取り組み	○住田尚子、釘宮泰子 (ポスター)

<教員研修会 研究グループ>

	テーマ	教員
1G	授業研究におけるカリキュラム開発	早川 直子、榎本 里香
2G	看護教員が教える「人体の構造と機能」の評価	他校教員
3G	看護学生の学習に対する主体性の実際	他校教員
4G	看護学生への症状アセスメント・症状緩和に向けての援助抽出における思考過程の育成	他校教員
5G	看護学生のソーシャルネットワークに対する調査	他校教員
6G	母性看護学、助産学分野における実習指導の充実 実習指導者の指導力向上に向けた活動	辻本 陽子、田中 美和子、北井 英子
7G	在宅看護論実習における学生の戸惑い・困難さの把握	近藤 尚子、住田 尚子、稲垣 寿美
8G	学生が主体的に取り組めるための看護技術指導方法の検討	大上 寿子、高橋 里佐
9G	アクティブラーニングに関する文献レビュー	若月 麻央、中溝 好美、林田 聖子
10G	採血の技術習得に向けた教育方法の開発	寺田 博子、太田 恵子

<授業研究>

日程	授業内容	教員
平成28年6月7日(火)	基礎看護技術Ⅱ：移動(演習)	辻本陽子
平成28年7月4日(月)	基礎看護技術Ⅰ：感染(演習)	高橋里佐
平成28年7月5日(火)	基礎看護技術Ⅲ：清潔(演習)	大上寿子
平成28年7月21日(木)	成人看護援助技術Ⅰ(講義)	榎本里香
平成28年8月29日(月)	老年看護学演習(講義)	中溝好美
平成28年11月1日(火)	看護と実践の統合Ⅲ(演習)	住田尚子
平成28年11月8日(火)	基礎看護技術Ⅴ(検査)	太田恵子
平成28年11月29日(火)	基礎看護技術Ⅵ：与薬(演習)	近藤尚子
平成28年12月8日(木)	成人看護概論	早川直子
平成29年2月20日(月)	老年看護援助技術	寺田博子

2) 研修参加

日程	主催	研修内容	参加人数
平成28年5月13日	近畿グループ	1・2年目教員研修 講義「1・2年目教員に期待すること」	太田 恵子 高橋 里佐
平成28年7月4日	近畿グループ	新任中間監督者研修	林田 聖子
平成28年7月30日	副学校長・教育主事・教員 夏期合同研修会	講演:「ハラスメント防止について」	20人
平成28年8月4日	近畿グループ	3年目以上教員研修 講義「看護学校での学級経営・学年経営 と授業づくり」	12人
平成28年8月3日～5日	労働者健康安全機構	専任教員・臨地実習指導担当者研修	榎本 里香
平成28年9月23日	近畿グループ	1・2年目教員研修 講義・演習「教師のための『教える技術』」	太田 恵子 高橋 里佐 林田 聖子
平成28年12月7日・8日	近畿グループ	認知症ケア研修	中溝 好美
平成29年1月25日	公益社団法人大阪府看護協会/ 大阪府看護学校協議会	大阪府専任教員養成講習会フォローアップ研修	若月 麻央
平成29年2月10日	国立病院機構 岡山医療センター附属岡山 看護助産学校 助産学科	国立病院機構 助産学校教員研修会:研究報告、技術到達度に関する検討など	田中美和子 北井 英子 若月 麻央
平成28年12月24日	一般財団法人 日本助産評価機構	助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー)レベルⅢ認証研修修了・認定	佐藤 美春

〈中堅教員研修〉

日程	研修内容	担当	参加者
平成28年10月31日	中堅教員研修 自校の課題分析と意見交換	増山 路子 小林 由里 佐藤 美春	住田尚子 田中美和子
平成28年12月2日	中堅教員研修 講義:「学校組織における中堅教員の役割」 グループワーク:自校の課題達成のアクションプラン について		

〈1,2年目教員研修〉

日程	研修内容	担当	教員
平成28年9月6日(火)	講義「単元:日常生活援助技術(コミュニケーション)」 参観・リフレクション	釘宮 泰子	太田 恵子 高橋 里佐 林田 聖子
平成28年11月29日(火)	演習「単元:診療援助技術(薬物療法)」参観・リフレクション	釘宮 泰子 近藤 尚子	太田 恵子 高橋 里佐 林田 聖子

〈実務研修〉

日程	研修内容		教員
平成28年8月3日～ 8月10日 6日間	京都医療センター	看護援助の見学・体験	林田 聖子
平成28年8月8日 1日間	京都医療センター	地域連携における退院支援の実際	近藤 尚子
平成28年8月9日 1日間	京都医療センター	地域連携における退院支援の実際	中溝 好美
平成28年8月10日 1日間	京都医療センター	病床管理の実際	榎本 里香
平成28年8月10日 1日間	京都医療センター	教育担当看護師長が実施する1年目看護師の育成・フォローアップの実際	稲垣 寿美
平成28年9月20日 1日間	大阪南医療センター 附属大阪南看護学校	基礎看護学実習指導の実際	大上 寿子
平成28年9月21日 1日間	大阪南医療センター 附属大阪南看護学校	基礎看護学実習指導の実際	寺田 博子

VIII. 社会への貢献

〈公開講座〉

日程	テーマ	参加者数
平成28年5月28日(土)	看護学生体験：血圧測定、手洗い、胸腹部聴診	13人
平成28年6月26日(日)	看護学生体験：血圧測定、手洗い、胸腹部聴診	30人
平成28年7月31日(日)	看護学生体験：血圧測定、手洗い、胸腹部聴診	59人
平成28年8月20日(土)	看護学生体験：血圧測定、清潔操作、包帯	55人
平成28年9月11日(日)	看護学生体験：血圧測定、清潔操作、包帯	28人
平成28年11月6日(日)	看護学生体験：血圧測定、清潔操作、包帯	28人
平成28年11月6日(日)	市民公開講座：ストレッチ・ゆびヨガ	15人
平成28年9月17日(土)	性教育講座を「つながる命の大切さ ～これまでの自分、これからの自分～」	14人
平成28年10月8日(土)	ファミリー教室「みんなで新しい家族をむかえよう」 ～Welcome, New Family～	19人
平成28年7月16日(土)	助産学生体験：モデル人形による分娩介助体験	52人
平成28年8月20日(土)	助産学生体験：モデル人形による分娩介助体験	65人
平成28年9月3日(土)	助産学生体験：モデル人形による分娩介助体験	23人
	合計	342人

<オープンキャンパス>

学科	日程	参加者数	内容
看護学科	平成28年5月28日(土)	16人	学校説明 入学試験の説明 学校生活の紹介 校舎内見学 看護学生体験 看護学生との交流
	平成28年6月26日(日)	45人	
	平成28年7月31日(日)	71人	
	平成28年8月20日(土)	70人	
	平成28年9月11日(日)	35人	
	平成28年11月6日(日)	33人	
助産学科	平成28年7月16日(土)	52人	学校説明 学校生活の紹介 入学試験の説明 校舎内見学

<ガイダンス>

月	日	曜	内容	場所	出席者	実績数
4	14	木	TAP 主催京都精華学園高等学校 (4/14)	国際交流会館	増山路子	7
	20	水	進学相談会 (さんぽう)	天王寺都ホテル	増山路子	4
	30	土	進学相談会 (さんぽう)	メルパルク京都	釘宮泰子	18
5	6	金	進学相談会 (さんぽう)	みやこめっせ	増山路子	17
	11	水	TAP 主催向陽高等学校	みやこめっせ	増山路子	3
	14	土	就職・就学フェア (京都府看護協会)	みやこめっせ	増山路子 小林由里	33
	31	火	進学相談会 (京都廣学館高等学校)	けいはんなホール	増山路子	4
	31	火	進学相談会 (京都府立園部高等学校)	園部高等学校	釘宮泰子	3
6	12	日	医歯薬・看護・医療・福祉・医療事務系 会場形式進学相談会	梅田スカイビル タワーウエスト	小林由里	9
7	13	水	進学相談会 (昭栄広報 府立北嵯峨)	みやこめっせ	増山路子	7
	14	木	キャンパス見学会	当校	小林由里	15
	17	日	合同説明会 (東京アカデミー)	東京アカデミー京 都校	増山路子	15
8	4	木	学校相談会 (京都予備校)	京都予備校	増山路子	23
9	12	月	進学相談会 (さんぽう)	天王寺ミオ	釘宮泰子	5
12	6	火	進学相談会 (さんぽう)	ラポール京都	増山路子	6
2	22	水	進学相談会 (京都聖母学院高等学校)	聖母学院高等学校	増山路子	21
2	24	金	高等学校教員との情報交換会 (さんぽう)	梅田スカイビル	増山路子	4

<教員の講習会、研修等の講師>

日程	研修内容	教員
平成28年6月～7月	近畿グループ 平成28年度保健師助産師看護師 実習指導者講習会 講義講師	増山路子(3回) 小林由里(3回) 釘宮泰子(1回) 佐藤美春(1回)
	近畿グループ 平成28年度保健師助産師看護師 実習指導者講習会 演習指導案助言講師	榎本里香
平成28年 5月25日 6月22日 7月27日 平成29年 1月25日	京都医療センター附属 京都看護助産学校 実習指導者研修プログラム(第1回～第4回)	増山路子 小林由里 釘宮泰子 近藤尚子 中溝好美 榎本里香 寺田博子 稲垣寿美

平成28年8月1日 3日18日25日	滋賀県専任教員養成講習会 教育課程演習 指導	増山路子
平成28年9月15日	近畿グループ 教育担当看護師長研修 講師 「ファシリテータースキル」について 受講者21名	増山路子
平成29年2月23日	敦賀医療センター 社会人基礎力を育む教育力とは	増山路子
平成28年度	京都母性衛生学会 理事 京都母性衛生学会 会計副委員長 会計委員	佐藤美春 若月麻央 田中美和子 北井英子

<研修生受け入れ>

日程	研修内容		受け入れ数
平成28年12月5日 ～12月8日	教員 インターンシップ	近畿グループ主催	1人
平成28年12月5日 ～12月7日	教員 インターンシップ	近畿グループ副学校長 教育主事協議会主催	1人
平成29年2月5日 ～3月1日	教員 インターンシップ	近畿グループ副学校長教 育主事協議会主催	1人
平成29年3月7日 ～3月8日	教員 インターンシップ	近畿グループ副学校長教 育主事協議会主催	1人

IX. 施設と設備

1. 建物の概要

	区 分	建築年数	構造・階	面積 (㎡)	摘 要
看護学科	校 舎	平成16年	RC4階	延: 3037㎡ 建: 1002㎡	
助産学科	校 舎	昭和54年	RC2階	延: 850㎡ 建: 469㎡	
	寄宿舍		RC5階	延: 540㎡ 建: 111㎡	
共通	図書棟	平成16年	RC2階	延: 704㎡ 建: 421㎡	
	体育館	平成3年	RC2階	延: 664㎡ 建: 600㎡	

2. 図書・ビデオ保有数

<図書>

(平成29年3月31日現在)

	基礎科目	専門基礎科目	専門分野	その他	雑誌	合計
看護学科	3,446	2,600	9,567	37	20種	15,650
助産学科	594	944	2,053	8	20種	3,599

<ビデオ>

(平成29年3月31日現在)

	基礎科目	専門基礎科目	専門分野	その他	合 計
看護学科	28	139	780	0	947
助産学科	0	57	267	0	324

X. 会議一覧

月	平成 28 年度 開催状況
4 月	運営会議・講師会議 実習指導者会議・実習指導者役員会 教員会議(5回/月)
5 月	実習指導者会議・実習指導者役員会 教員会議(3回/月)
6 月	運営会議 実習指導者会議・実習指導者役員会 教員会議(4回/月)
7 月	実習指導者会議・実習指導者役員会 教員会議(4回/月)
8 月	教員会議(7回/月)
9 月	実習指導者会議・実習指導者役員会 教員会議(4回/月)
10 月	実習指導者会議・実習指導者役員会 教員会議(4回/月)
11 月	運営会議 実習指導者会議・実習指導者役員会 教員会議(4回/月) 入試委員会(社会人入試・特別選抜入試) 一次試験合否判定会議・二次試験合否判定会議
12 月	実習指導者会議・実習指導者役員会 教員会議(4回/月)
1 月	運営会議 教員会議(4回/月) 入試委員会(一般入試) 一次試験合否判定会議・二次試験合否判定会議
2 月	運営会議・講師会議 実習指導者会議・実習指導者役員会 教員会議(4回/月)
3 月	運営会議・講師会議 実習指導者会議・実習指導者役員会 教員会議(5回/月)

学校評価 〈看護学科〉

学校評価の実施

当校では、教育活動の質の向上をはかり、地域社会及び学生から寄せられる期待に応えるために、平成19年から自己点検・自己評価を実施しています。評価表は27年度に見直しを行い、13領域、110項目について、より客観性のあるフィードバックが得られるように改訂しました。

平成28年度は京都府健康福祉部の3名の評価者による評価と国立病院機構近畿グループ5校の副学校長・教育主事・教員による学校相互評価を実施し、更なる教育の充実を目指しています。

学校評価総評結果と改善への取り組み

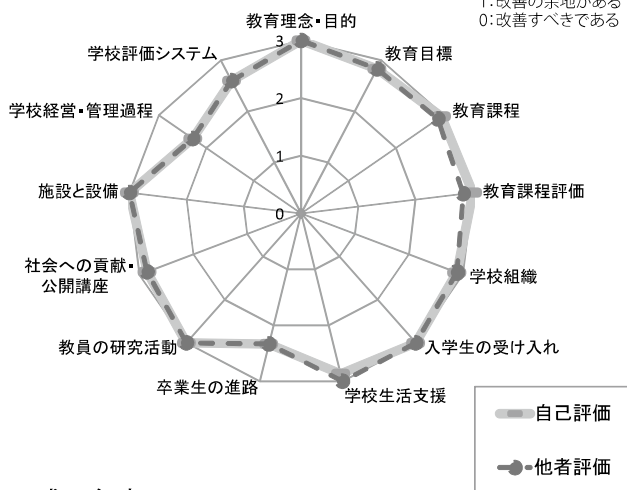
すべての評価項目について、「2：満たしている」以上の評価を得ることができました。カリキュラムポリシーやディプロマポリシーを明確に示し、学生の反応をタイムリーに把握し、教育に反映させていると評価を得ました。

今後改善を必要とする内容は、次の4点です。改善点を早急に見直し、更に教育の充実がはかれるように取り組んでいきます。

1. 学生・教員による授業・実習評価の結果を学校運営の改善に活用していくこと。
2. 学生の便覧、シラバスを、学生にとって活用しやすいものにしていくこと。
3. 学生の反応をタイムリーに把握し対応できるよう、「意見箱」の活用等を継続すること。
4. 教員が自己研鑽し、積極的に研究に取り組める環境を整え、業績成果を示していくこと。

	評価項目	項目	自己評価	他者評価
I	教育理念・目的	6項目	3.0	3.0
II	教育目標	6項目	2.8	2.8
III	教育課程	26項目	3.0	2.9
IV	教育課程評価	6項目	3.0	2.8
V	学校組織	9項目	2.9	2.9
VI	入学生の受け入れ	5項目	3.0	3.0
VII	学校生活支援	15項目	2.9	3.0
VIII	卒業生の進路	7項目	2.3	2.3
IX	教員の研究活動	4項目	3.0	3.0
X	社会への貢献・公開講座	7項目	2.9	2.9
XI	施設と設備	7項目	3.0	3.0
XII	学校経営・管理過程	7項目	2.3	2.3
XIII	学校評価システム	5項目	2.6	2.6

評価基準
 3: 十分満たしている
 2: 満たしている
 1: 改善の余地がある
 0: 改善すべきである



平成28年度
 看護師養成所自己点検・自己評価結果(看護学科)

評価項目	評価の概要
I 教育理念・目的	学校の教育理念・教育目的は明文化され、教職員および学生に浸透し、卒業時点での学生像に反映されているかについて評価します。
II 教育目標	教育理念・目的・教育目標の一貫性および卒業後教育との継続性を考慮した目標設定であり、教員・学生が共有できているかについて評価します。
III 教育課程	教育課程の編成について独自性、整合性、ニーズへの対応などの観点から科目が挙げられているか、講義・実習の内容に妥当性があり、教育の質向上のために工夫し、計画的に進められているかについて評価します。
IV 教育課程評価	自己および学生による授業評価の実施と改善の取り組み状況について評価します。
V 学校組織	学校の組織体制について人員配置および意思決定システムが適正であるかと防災対策や個人情報保護について評価します。
VI 入学生の受け入れ	自校の教育理念に基づいた入学選抜試験の適正な運用と実施状況の分析、検証状況について評価します。
VII 学校生活支援	学生の生活支援体制について、健康管理、プライバシー保持、自治会活動、関係者との調整の観点から整備されているかについて評価します。
VIII 卒業生の進路	卒業時の到達状況、進路、国家試験の合格状況を分析し、教育活動に生かしているかについて評価します。
IX 教員の研究活動	教員の研究活動の実施状況および支援体制について評価します。
X 社会への貢献・公開講座	公開講座やボランティア等、地域社会のニーズをふまえた社会貢献、近隣関連施設との情報交換等、地域との交流状況、また、国際的視野をふまえた教育体制等について評価します。
X I 施設と設備	施設設備などの学習環境の整備状況について評価します。
X II 学校経営・管理過程	教育活動について将来構想をもとに計画的に管理・運営しているかについて評価します。
X III 学校評価システム	自己点検・自己評価システムの整備状況や運用について評価します。

学校評価 〈助産学科〉

学校評価の実施

当校では、教育活動の質の向上をはかり、地域社会及び学生から寄せられる期待に応えるために、平成19年から自己点検・自己評価を実施しています。評価表は27年度に見直しを行い、13領域、110項目について、より客観性のあるフィードバックが得られるように改訂しました。

平成28年度は京都府健康福祉部の3名の評価者による評価と国立病院機構近畿グループ5校の副学校長・教育主事・教員による学校相互評価を実施し、更なる教育の充実を目指しています。

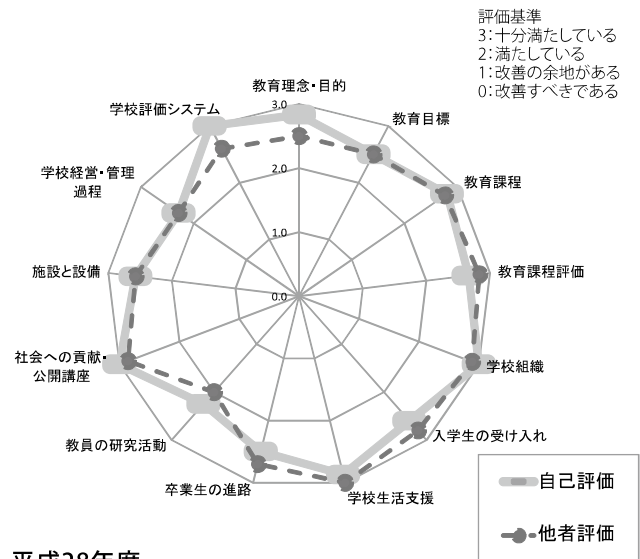
学校評価総評結果と改善への取り組み

すべての評価項目について、「2: 満たしている」以上の評価を得ることができました。この中で更に改善・向上への取り組みを必要とする内容は、次の4点です。

今後、改善点を早急に見直し、更に教育の充実がはかれるよう取り組んでいきます。

- 1.教育理念に基づいて、アドミッションポリシー、ディプロマポリシーを助産学科独自に検討していくこと。
- 2.教員間の連携を密に保てるように会議やミーティングの場を効果的に活用していくこと。
- 3.防災に関する取り組みや活用について、看護学科と協働して検討していくこと。
- 4.教員が自己研鑽し、積極的に研究に取り組める環境を整え、業績成果を示していくこと。

	評価項目	項目	自己評価	他者評価
I	教育理念・目的	6項目	2.8	2.5
II	教育目標	6項目	2.5	2.5
III	教育課程	26項目	2.8	2.8
IV	教育課程評価	6項目	2.7	2.8
V	学校組織	9項目	3.0	2.9
VI	入学生の受入れ	5項目	2.6	2.8
VII	学校生活支援	15項目	2.9	3.0
VIII	卒業生の進路	7項目	2.5	2.7
IX	教員の研究活動	4項目	2.3	2.0
X	社会への貢献・公開講座	7項目	3.0	2.9
XI	施設と設備	7項目	2.6	2.6
XII	学校経営・管理過程	7項目	2.3	2.3
XIII	学校評価システム	5項目	3.0	2.6



平成28年度
助産師養成所自己点検・自己評価結果(助産師科)

評価項目	評価の概要
I 教育理念・目的	学校の教育理念・教育目的は明文化され、教職員および学生に浸透し、卒業時点での学生像に反映されているかについて評価します。
II 教育目標	教育理念・目的・教育目標の一貫性および卒業後教育との継続性を考慮した目標設定であり、教員・学生が共有できているかについて評価します。
III 教育課程	教育課程の編成について独自性、整合性、ニーズへの対応などの観点から科目が挙げられているか、講義・実習の内容に妥当性があり、教育の質向上のために工夫し、計画的に進められているかについて評価します。
IV 教育課程評価	自己および学生による授業評価の実施と改善の取り組み状況について評価します。
V 学校組織	学校の組織体制について人員配置および意思決定システムが適正であるかと防災対策や個人情報保護について評価します。
VI 入学生の受け入れ	自校の教育理念に基づいた入学選抜試験の適正な運用と実施状況の分析、検証状況について評価します。
VII 学校生活支援	学生の生活支援体制について、健康管理、プライバシー保持、自治会活動、関係者との調整の観点から整備されているかについて評価します。
VIII 卒業生の進路	卒業時の到達状況、進路、国家試験の合格状況を分析し、教育活動に生かしているかについて評価します。
IX 教員の研究活動	教員の研究活動の実施状況および支援体制について評価します。
X 社会への貢献・公開講座	公開講座やボランティア等、地域社会のニーズをふまえた社会貢献、近隣関連施設との情報交換等、地域との交流状況、また、国際的視野をふまえた教育体制等について評価します。
XI 施設と設備	施設設備などの学習環境の整備状況について評価します。
XII 学校経営・管理過程	教育活動について将来構想をもとに計画的に管理・運営しているかについて評価します。
XIII 学校評価システム	自己点検・自己評価システムの整備状況や運用について評価します。